

越谷南ロータリークラブ会報

会長 岩淵秀一 幹事 染谷宗一 会長エレクト 小林光蔵

R | 会長テーマ 「奉仕を通じて平和を」

クラブ会長テーマ 「奉仕を楽しむ為に60名会員の達成を」



平成25年5月9日 第1907回例会

会長挨拶

岩淵秀一会長

皆さん今日は、第一例会には欠席を致しましてすみませんでした。また、浅水直前には、代わりを務めて頂き有難う御座いました。



越谷の歴史も残り少なくなってきましたが、今日は、越谷の基督教のはじまりの話をしたいと思います。江戸時代基督教はキリシタンと呼ばれ、かたく禁じられた宗教でその信者は

きびしく処罰されました。明治になって信仰の自由が許されましたので、外国から基督教の宣教師がたくさん日本にやってきました。このなかにムーア（モール）博士というアメリカの宣教師がいました。ムーアは明治16年に日本に来て、東京日本橋に教会堂を建設し、東京を始め、川口・鳩ヶ谷・岩槻・などを中心に、主に道ばたでの説教をして歩きました。

ある日、鳩ヶ谷で説教をしていたとき、荷車に米を積んで鳩ヶ谷の市場へ運んでいた腰巻村（現新川町）の吉田兼三郎という農民が、このキリストの教えを聞いて、たいそう感動しました。家に帰った吉田さんは早速村の人々を訪ね、宣教師を村に招くように説いてまわりました。

そして明治17年6月15日、ムーア自身が腰巻村を訪れ、吉田さんの家に泊まりこんで伝道を続けました。このとき吉田さんをはじめ腰巻村のなかで四人の人が洗礼をうけて信者になりました。これが越谷の基督教の始まりです。当時、長い間のならわしから多くの人々は基督教を恐がったり、けざらして、教えを受け入れようとはしませんでした。

こうしたなかで、吉田さんたちは基督教に入信しましたが、この入信は日本のなかでもたいそう早い方でした。それだけに勇気のいることだったと思われます。その後吉田さんらは越ヶ谷町に出て伝道をはじめましたが、明治22年には九名の人が洗礼をうけ越ヶ谷教会の設立式が行われました。教会堂ははじめ空家を借りていましたが、大正13年越ヶ谷停車場前通りに独立した越ヶ谷教会堂がたてられました。この教会堂は昭和4年火災にあったため、新たに越ヶ谷、御殿町（現在地）に教会堂を建て移ったそうです。

以上本日の、会長挨拶と致します。

幹事報告

染谷宗一幹事

1. 地区ガバナー・エレクト（渡邊和良）より2013～14年度部門セミナー登録料一括振込の依頼が来ています。
2. スラバヤジュンバタンメラクラブより創立10周年式典の招待状が来ています。
3. ペットボトルキャップの引取証明書が来ています。
4. 第8グループより例会の案内が来ています。
5. 6月13日（木）夜間例会を6月14日（金）の夜間例会に変更になりました。

誕生祝い



委員会報告

◇親睦委員会

清村勝之親睦委員長

6月14日に親睦夜間例会とクラブ内ゴルフコンペを開催いたします。詳細は後ほどFAXいたします。

◇地区ライラ委員会

大熊進委員

先ごろ開催されたライラ研修の写真と記事がガバナー月信にのっていますので、皆さん読んでみてください。

3分間スピーチ

R情報委員会浅水尚伸委員

今日は、ロータリー情報についてのお話をする機会ですが、どうしても、皆さんに知っておいてもらいたいことがあるので、そのお話をさせて下さい。それは、大災害の直後に日本を訪れたブータン国王の国会での演説です。マスコミは、何故か、日本を賞賛する外国の元首たちの挨拶を紹介したが



らないのですが、訳文をそのまま読みます。

： 天皇皇后両陛下、日本国民と皆さまに深い敬意を表しますとともにこのたび日本国会で演説する機会を

賜りましたことを謹んでお受けします。衆議院議長閣下、参議院議長閣下、内閣総理大臣閣下、国会議員の皆様、ご列席の皆様。世界史においてかくも傑出し、重要性を持つ機関である日本国会のなかで、私は偉大なる叡智、経験および功績を持つ皆様の前に、ひとりの若者として立っております。皆様のお役に立てるようなことを私の口から多くを申しあげられるとは思いません。それどころか、この歴史的瞬間から多くを得ようとしているのは私のほうです。このことに対し、感謝いたします。

妻ヴェンチェンと私は、結婚のわずか1ヶ月後に日本にお招きいただき、ご厚情を賜りましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。これは両国間の長年の友情を支える皆さまの、寛大な精神の表れであり、特別のおもてなしであると認識しております。

ご列席の皆様、演説を進める前に先代の国王ジグミ・シンゲ・ワンチュク陛下およびブータン政府およびブータン国民からの皆様への祈りと祝福の言葉をお伝えしなければなりません。ブータン国民は常に日本に強い愛着の心を持ち、何十年ものあいだ偉大な日本の成功を心情的に分ちあっています。3月の壊滅的な地震と津波のあと、ブータンの至るところで大勢のブータン人が寺院や僧院を訪れ、日本国民になぐさめと支えを与えようと、供養のための灯明を捧げつつ、ささやかながらも心のこもった勤めを行うのを目にし、私は深く心を動かされました。

私自身は押し寄せる津波のニュースをなすすべもなく見つめていたことをおぼえております。そのときからずっと、私は愛する人々を失くした家族の痛みと苦しみ、生活基盤を失った人々、人生が完全に変わってしまった若者たち、そして大災害から復興しなければならぬ日本国民に対する私の深い同情を、直接お伝えできる日を待ち望んでまいりました。いかなる国の国民も決してこのような苦難を経験すべきではありません。しかし仮にこのような不幸からより強く、より大きく立ち上がれる国があるとすれば、それは日本と日本国民であります。私はそう確信しています。

皆様が生活を再建し復興に向け歩まれるなかで、我々ブータン人は皆様とともにあります。我々の物質的支援はつましいものですが、我々の友情、連帯、思いやりは心からの真実味のあるものです。ご列席の皆様、我々ブータンに暮らす者は常に日本国民を親愛なる兄弟・姉妹であると考えてまいりました。両国民を結びつけるものは家族、誠実さ。そして名誉を守り個人の希望よりも地域社会や国家の望みを優先し、また自己よりも公益を高く位置づける強い気持ちなどであり、2011年は両国の国交樹立25周年にあたる特別な年でもあります。しかしブータン国民は常に、公式な関係を越えた特別な愛着を日本に対し抱いてまいりました。私は若き父とその世代の者が何十年も前から、日本がアジアを近代化に導くのを誇らしく見ていたのを知っています。すなわち日本は当時開発途上地域であったアジアに自信と進むべき道の自覚をもたらし、以降日本のあとについて世界経済の最先端に躍

り出た数々の国々に希望を与えてきました。日本は過去にも、そして現代もリーダーであり続けます。

このグローバル化した世界において、日本は技術と確信の力、勤勉さと責任、強固な伝統的価値における模範であり、これまで以上にリーダーにふさわしいのです。世界は常に日本のことを大変な名誉と誇り、そして規律を重んじる国民、歴史に裏打ちされた誇り高さ伝統を持つ国民、不屈の精神、断固たる決意、そして秀でることへ願望を持って何事にも取り組む国民。知行合一、兄弟愛や友人との揺るぎない強さと気丈さを併せ持つ国民であると認識してまいりました。これは神話ではなく現実であると謹んで申しあげたいと思います。それは近年の不幸な経済不況や、3月の自然災害への皆様の対応にも示されています。

皆様、日本および日本国民は素晴らしい資質を示されました。他の国であれば国家を打ち砕き、無秩序、大混乱、そして悲嘆をもたらしたであろう事態に、日本国民の皆様は最悪の状況下でさえ静かな尊厳、自信、規律、心の強さを持って対処されました。文化、伝統および価値にしっかりと根付いたこのような卓越した資質の組み合わせは、我々の現代の世界で見出すことはほぼ不可能です。すべての国がそうありたいと切望しますが、これは日本人特有の特性であり、不可分の要素です。このような価値観や資質が、昨日生まれたものではなく、何世紀もの歴史から生まれてきたものなのです。それは数年数十年で失われることはありません。そうした力を備えた日本には、非常に素晴らしい未来が待っていることでしょう。この力を通じて日本はあらゆる逆境から繰り返し立ち直り、世界で最も成功した国のひとつとして地位を築いてきました。さらに注目に値すべきは、日本ご列席の皆様。私はすべてのブータン人に代わり、心からいまお話をしています。私は専門家でも学者でもなく日本に深い親愛の情を抱くごく普通の人間に過ぎません。その私が申しあげたいのは、世界は日本から大きな恩恵を受けるであろうということです。卓越性や技術革新がなんたるかを体現する日本。偉大な決断と業績を成し遂げつつも、静かな尊厳と謙虚さとを兼ね備えた日本国民。他の国々の模範となるこの国から、世界は大きな恩恵を受けるでしょう。日本がアジアと世界を導き、また世界情勢における日本の存在が、日本国民の偉大な業績と歴史を反映するにつれ、ブータンは皆様に応援し支持してまいります。ブータンは国連安全保障理事会の議席拡大の必要性だけでなく、日本がそのなかで主導的な役割を果たさなければならないと確認しております。日本はブータンの全面的な約束と支持を得ております。ご列席の皆様、ブータンは人口約70万人の小さなヒマラヤの国です。国の魅力的な外形的特徴と、豊かで人の心をとらえて離さない歴史が、ブータン人の人格や性質を形作っています。ブータンは美しい国であり、面積が小さいながらも国土全体に広がるさまざまな異なる地形に数々の寺院、僧院、城砦が点在し何世代ものブータン人の精神性を反映しています。手付かずの自然が残されており、我々の文化と伝統は今も強靱に活気を保っています。ブータン人は何世紀も続けてきたように人々のあいだに深い調和の精神を持ち、質素で謙虚な生活を続けています。



今日のめまぐるしく変化
する世界において、国民が
何よりも調和を重んじる社
会、若者が優れた才能、勇
気や品位を持ち先祖の価値
観によって導かれる社会。
そうした思いやりのある社
会で生きている我々のあり

方を、私は最も誇りに思います。我が国は有能な若きブータン人の手のなかに委ねられています。我々は歴史ある価値観を持つ若々しい現代的な国民です。小さな美しい国ではありますが、強い国でもあります。それゆえブータンの成長と開発における日本の役割は大変特別なものです。我々が独自の願望を満たすべく努力するなかで、日本からは貴重な援助や支援だけでなく力強い励ましをいただけてきました。ブータン国民の寛大さ、両国民のあいだを結ぶより次元の高い大きな自然の絆。言葉には言い表せない非常に深い精神的な絆によってブータンは常に日本の友人であり続けます。日本はかねてよりブータンの最も重大な開発パートナーのひとつです。それゆえに日本政府、およびブータンで暮らし、我々とともに働いてきてくれた日本人の方々の、ブータン国民のゆるぎない支援と善意に対し、感謝の意を伝えることができ大変嬉しく思います。私はここに、両国民のあいだの絆をより強め深めるために不断の努力を行うことを誓います。改めてここで、ブータン国民からの祈りと祝福をお伝えします。ご列席の皆様。簡単ではありますが、(英語ではなく)ゾンカ語、国の言葉でお話したいと思ひます。

ご列席の皆様。いま私は祈りを捧げました。小さな祈りですが、日本そして日本国民が常に平和と安定、調和を経験しそしてこれからも繁栄を享受されますようにという祈りです。ありがとうございました。

卓話「職業について」

齋藤壽一会員

こんにち。今日は職業についてのお話をしようと思ひ、まずは皆さんの職業を見渡して、大きく2種類に分けてみました。1つ目は「見込型」の仕事、2つ目は「受注型」の仕事です。簡単に言うと「見込型」とは、「仕入れたものを売る」ことで、「受注型」とは、「お客さんのために仕入れる」といった具合でしょうか。

この両方に共通する、「成長のために打つべき手」として、次のことが挙げられます。

- ①増客「お客様の多い先に不景気は無い」
- ②商品サービスを磨く
- ③体制を作る

そして「安定のために打つべき手」として、次のことが挙げられます。

- ①お客様第一主義
- ②売り物を磨く(人間性・信用などを磨く)
- ③繰り返しのシステムを作る

そして、世の中を大きく変えるものとして、次のことが挙げられます。

- ①交通網
- ②情報網

③税など、法律の改正

④技術革新

事業を発展させるために頑張りましょう。

スマイル報告

齋藤さん、卓話ありがとうございます・・・浅水・池田(玄)・石野・佐藤(太)・佐藤(陽)・清村・染谷・遠山・中島・中村・仁多見・野呂田・深井・本田・水町

齋藤P P、卓話ありがとうございます・・・飯泉
齋藤パスト会長、卓話有難うございました・・・岡田
齋藤会員、卓話有難うございます・・・奥野
齋藤会員、いつもいつも良い話、ありがとうございます

・・・小林(光)
齋藤さん、卓話おつかれさまでした・・・小林(武)
卓話ありがとうございます・・・浜野
齋藤さん、卓話お疲れ様でした・・・久木野
卓話ご苦労様です・・・藤田
浅水さん3分スピーチ、齋藤さん卓話有り難うございました

・・・岩渕
浅水先生、ブータンの話ありがとうございます・・・糸賀
浅水パスト会長3分スピーチありがとうございます・・・石塚
健康診断でバリウムおいしく頂きました。浅水会員、3分スピーチありがとうございます。齋藤会員、卓話ありがとうございます・・・加藤
岩渕会長、腰が良くなってよかったですね。大事にしましょう、もう少し・・・大熊
ブータン国王バンザイ・・・神谷
今日、5月9日は吉田さんの誕生日だそうです・小林(光)
吉田パストガバナー、おたんじょうびおめでとうございます

・・・野呂田
会長様がよくなられてお目にかかり安心しました・池田(節)
本年度も富士登山を計画致しました。ご参加よろしく願ひします。8/1~2です・・・吉田
本日早退します・・・中野

出席報告

例 会 日	平成25年5月9日		
会 員 数	52名	出席	35名
出席免除者	11名	欠席	13名
出 席 率	72.19%	前々回MU	1名
MU 修正率	70.80%	会報担当：水町	

————— クラブプロフィール —————
 ☆姉妹クラブ 国際ロータリー第3460地区
 台中南区扶輪社(中華民国台中市)
 ☆例 会 日 毎週木曜日(PM:30~1:30)
 ☆例会場・事務局 〒343-0842
 越谷市蒲生旭町10-14 中野ビル2階
 TEL 048-987-5761
 FAX 048-987-5762
 E-mail info@koshigayasouth-rc.jp